

レプリコンワクチンについて

秋から始まるレプリコンワクチン(コスタイベ筋注)の接種は、慎重にご検討願います。
昨今、情報が錯綜しておりますレプリコンワクチンですが、厚生労働省に勤務されている現役職員の方に、「厚生労働省内でワクチン接種を控えるように」と通達があったとの情報を頂きました。
下記内容をご参照の上、接種についてよくご検討ください。

1. 世界中で、日本しか承認されていません！

レプリコンワクチンが開発国や先行治験国で認可されていないという問題。

日本がレプリコンワクチンを認可してから8か月が経過していますが、開発国である米国や大規模治験を実施したベトナムをはじめとする世界各国でいまだにレプリコンワクチンが認可されていない状況です。

本来、薬剤は安全性が認められるまで世の中に出回ることはありません。海外で未許可であるということは何らかの安全上の懸念があるのではないかと疑わざるを得ません。

2. 接種した方の回りの方々(ペットにも)悪影響がある。

悪影響は、接種した人だけでなく、接種した人の呼気、汗に含まれる細胞外小胞エクソソームにより、周囲の人(ペット)への暴露(シェディング)が懸念されています。

これは、望まない人(ペット)にワクチンの成分が取り込まれてしまうという倫理的問題をはらんでいます。

3. 一生、体内で炎症反応が起きてしまう副反応も。

スパイク蛋白を自己増殖し続ける性質のため、これまでのワクチンよりも重篤な疾患を発生し、従来型ワクチンの100倍~1000倍危険であると言われてしています。

国内において、4300名の治験者に対して既に90%の有害事象があり、5名が死亡しています。

また、ワクチン接種救済補償額も4,320万円から700万円まで減額されていて、請求方法も非常に煩雑でなかなか認可されていない現状です。

新型コロナウイルスワクチンだけでなく、肺炎球菌ワクチンやインフルエンザワクチンにもmRNA型が利用されていく方向です。

ペットシッターnicoでは、未接種の飼い主様とペット達、スタッフやその家族の生命を守る為、コスタイベ筋注ワクチンを接種された飼い主様や接種されたご家族様がいらっしゃる場合、シッターサービスは例外なくお断りさせていただきます事ご了承くださいませ。